

 <p>開校明治七年 開校147年目</p>	<h1>宗岡小だより</h1> <p>学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 心も体も元気な子</p>	めざす学校像 「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」 「安全・安心できれいな学校」	3月の生活目標 一年間のまとめをし、 学校をきれいにしよう ・学校をきれいにしよう ・感謝の気持ちを伝えよう
		令和4年3月号 志木市立宗岡小学校 児童数 452名・学級数 18学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307	
<p>基本理念「自分がすき 友だちがすき 町がすきな 宗小の子」</p>			

感謝の心を育てる

校長 石田 賢一

1月下旬から本校にも新型コロナウイルスオミクロン株の脅威が吹き荒れ、多くのクラスが学級閉鎖となりました。学級閉鎖は本校だけでなく、市内小学校8校においても多くみられました。

2月の下旬を迎え、一時と比較すると感染状況が落ち着いた様子ですが、まだまだ油断できない状況です。保護者の皆様のご協力のおかげで、本校では学級閉鎖は多く実施しましたが、同じクラス内で1名の陽性者から複数名に感染が確認されるクラスターは1件も起きていません。子供達の健康管理に改めてお礼申し上げます。令和3年度も残り1か月となってきましたが、子供達が安心・安全な学校生活を送れるよう教職員一同頑張っています。今後ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、3月の生活目標は「一年間のまとめをし、学校をきれいにしよう」です。具体的な取組にある「学校をきれいにしよう」は、子供達が今年一年間学びの場としてお世話になった教室や校舎に対して感謝を表すために行うものであると考えています。また、次年度に教室を使う子供達に整った学習環境を引き継ぐためでもあります。この教室や校舎に感謝することは、もう一つの具体的な取組である「感謝の気持ちを伝えよう」と関係があります。今回は、「感謝」について少し述べたいと思います。

「感謝」がどうして大切なのか、二つの面から説明します。まずは、「周りから協力を得やすい」ということです。「感謝の気持ち」がある子供は、日頃の態度や発言において必ずその気持ちが表れます。周りの人々は「協力してあげたい」という強い気持ちが働き、子供自身が様々な課題を周囲と協力しながら解決することができます。次に、「課題解決のための方策がわかる」ということです。「感謝の気持ち」がある子供は自分に関わる周囲の存在を理解しており、自分の状況をより客観的に見ることができます。そして「課題解決のためには、周りの人々の協力が必要である」ことが理解でき、課題解決のためのより良い方策を考えることができます。

21世紀には、課題解決のために「自分の行動を調整し、主体的に活動できる力」、「他者と効果的なコミュニケーションがとれる力」、「協力して社会づくりに参画できる力」といった実践力が求められています。感謝することができる力とこの実践力は非常に密接な関係があるといえます。宗岡小学校の子供達がこれからの社会で活躍するためにも素直に感謝できる心を育てていきたいと考えております。

また、ご家庭においても子供達の感謝する心を育てていただければと思います。教育ジャーナリスト加藤紀子氏の著書『子育てベスト100-「最先端の新常識×子どもに一番大事なこと」が1冊で全部丸わかり』に「人に感謝できる子」の親がしている5大習慣という記事があります。

習慣①「1週間に一度は感謝の時間を」です。例えば、「〇〇が××してくれたことにありがとう」や「〇〇がおいしかったことにありがとう」といった内容を親子で確認することです。

習慣②「親が手本になる」です。例えば、子供が「ありがとう」を言えないときに無理強いするのではなく、親と一緒に言ったり、ふだんからまわりに「ありがとう」と伝えたりすることを習慣にし、お手本になることです。

習慣③「子供に感謝する」です。子供は親から「ありがとう」、「助かったよ」と感謝されると、自分が役に立てたことに喜びを感じます。このことが、ポジティブな気持ちにつながります。

習慣④「感謝の気持ちを書いて伝える」です。感謝の手紙を書くことで、手紙を受け取る側だけでなく、送る側の幸福感も高まります。言葉で「ありがとう」と言いにくいときには書くことでも感謝を伝えられることを示せます。

習慣⑤「感謝のピンをつくる」です。「感謝のピン」を作り、誰かに感謝したいことが起こるたび、折り紙などカラフルな紙に書き込み、「感謝のピン」に入れていきます。大晦日や誕生日などの節目にピンを開け、中のメッセージを読んで振り返ります。

5つの習慣の中から無理のない範囲で実践していただければと思います。よろしくお願いいたします。